



平成 28 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所 (コード番号: 4570)
本店所在地	群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者	代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先	取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
電 話 番 号	0274-22-2889 (代表)
U R L	http://www.ibl-japan.co.jp

米国バイオテクノロジー企業Intellect Neurosciences Inc.との 新たな契約締結のお知らせ

当社は、研究開発型米国バイオテクノロジー企業Intellect Neuroscience, Inc. (OTCQB: ILNS) (米国ニューヨーク市、以下「Intellect社」という。)と、新たな契約を締結致しました (以下「新契約」という。)。新契約締結により、2006年にIntellect社と締結した契約 (以下、「前契約」という。) は完全に置換えられます。

1. 契約の背景と概要

当社は2006年に前契約のもと、アルツハイマー病やその他疾患の治療薬の標的と考えられている、アミロイドβを特異的に検知する当社開発モノクローナル抗体 (コード名82E1)、その抗体の特許、およびノウハウ等をIntellect社に譲渡しました。

その後、Intellect社は、アルツハイマー病治療薬の開発を中断し、その代わりに、眼球のアミロイドβを標的とした抗体薬物複合体 (ADC) として、ヒト化82E1抗体をメラトニン派生物と結合させ、加齢性黄斑変性 (AMD) の治療薬 (CONJUMAB-A) を開発することとなりました。本抗体の新たな標的疾患をIntellect社が発見したことにより、当社とIntellect社は前契約を新契約にて置き換えて締結する運びとなりました。

2. 今後の見通し

新契約の平成28年3月期の業績に与える影響は軽微であります。収益金額等の詳細については、Intellect社との守秘義務契約に基づき非開示となっております。また、今期平成29年3月期の業績に与える影響は、今期の業績予想に織り込んで公表する予定であります。なお、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせ致します。

以上